

いわみざわ 市議会だより



新議場で行われた令和4年第1回臨時会開催前、
全議員にて撮影した集合写真 ※撮影時のみマスクを外しております。

今号の主な内容

- 予算審査特別委員会・質問項目 2
- 代表質問 3
- 一般質問 7
- 審議結果 8
- 清園中学校社会科授業・意見交換会・編集後記 10

令和4年度各会計予算総額904億8,600万円を可決

【予算審査特別委員会】

一般会計及び特別会計国民健康保険費、病院事業など12会計の令和4年度予算案を含む25議案の審査のため、予算審査特別委員会を設置し、3月11日から3月17日にかけて審査を行い、全ての議案において可決すべきものとされ、本会議において一般会計484億円、特別会計206億1,900万円、企業会計214億6,700万円、総額904億8,600万円の令和4年度予算が原案のとおり可決されました。

質疑した委員	主な質疑（項目のみ）
総務	武田委員 ●防災対策事業●シティプロモーション推進事業●公共施設マネジメント推進事業
	日向委員 ●アダプテッド・スポーツ推進事業
	猪口委員 ●広報活動事業●選挙管理委員会費●子ども・子育て支援事業●ふれあい子どもセンター運営事業●保育・教育人材確保事業●教育情報システム化推進事業●教育指導振興事業●幼稚園入所運営事業
	山田委員 ●岩見沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正●特定地方交通線転換関連事業●地域イノベーション推進事業●子ども・子育て支援事業●中学校就学援助事業
民生	木村委員 ●高齢者・障がい者の冬のくらし支援事業●ひとり親家庭支援事業
	上田委員 ●病院事業会計予算・発熱外来●岩見沢市国民健康保険条例及び岩見沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正●不良空家除却補助金●地域コミュニティ活性化事業交付金等●特別会計後期高齢者医療費予算・窓口負担割合の見直しによる影響●生活困窮者自立促進支援事業●高齢者・障がい者の冬のくらし支援事業●特別会計介護保険費予算・介護職員の処遇改善
	河合委員 ●病院事業会計予算・新病院建設基本計画策定支援業務委託料●高齢者・障がい者の冬のくらし支援事業
経済建設	越戸委員 ●地産地消等所得向上対策事業●鳥獣対策事業●競馬場等施設管理事業●中心市街地活性化対策事業●観光振興戦略推進事業●ばらのまちづくり推進事業●水道事業会計予算・水道料金の収納
	山田議員(委員外) ●水道事業会計予算・給水収益
総括	山田委員 ●個人・法人市民税（歳入）

代表
一般

質
問

令和4年度の市政方針及び教育行政方針について、4会派4人の議員が市長、教育長に対して代表質問を行いました。また、2人の議員が一般質問を行いました。紙面の都合上、要約し掲載いたします。

代表質問、一般質問項目一覧 ※大項目のみ掲載

- | | | |
|---|---|---|
| <p>代表質問</p> <p>市民クラブ 豊岡 義博 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新年度予算について 2. ウィズコロナの取組について 3. 持続可能な農業環境について 4. 地域公共交通について 5. スマート・デジタル自治体の推進について 6. GIGAスクールの取組について <p>政和会 野尻 清 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人口減少に適合したまちづくりについて 2. 新型コロナウイルス感染症への対応について 3. 防災対策について 4. 健康経営都市について 5. 子どもが主人公となる授業づくりについて 6. 育ちと学びを支える教育環境の充実について 7. 学校の働き方改革の推進について | <ol style="list-style-type: none"> 8. 学校給食の充実について 9. 芸術・文化活動の推進について <p>日本共産党議員団 山田 靖廣 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. 市政運営の基本姿勢について 3. 地域で支え合う 安全・安心なまちづくりについて 4. 男女共同参画の推進について 5. みんなが健康で元気に暮らせるまちづくりについて 6. 豊かな心と生きる力をはぐくむまちづくりについて 7. 自然と調和した 快適で暮らしやすいまちづくりについて 8. 児童・生徒における新型コロナウイルス感染症について 9. 教育は、人を育てることを通して、未来を創造する営みについて 10. 学校教育の推進について 11. 子ども・子育て支援の推進について | <p>公明党 猪口 満雅 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新型コロナ対策について 2. カーボンニュートラルへの取組について 3. デジタル社会構築について 4. 子育て支援について 5. 学校給食について 6. チャイルドファーストについて <p>一般質問</p> <p>みどりの会 河合 清秀 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 膵臓がん早期発見、早期治療のために <p>日本共産党議員団 上田 久司 議員</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 水田活用の直接支払交付金見直しの問題と対策等について 2. 障がい児対策について |
|---|---|---|



市民クラブ
豊岡 義博

新年度予算について

—— 予算編成に当たっての観点、方向性

【市長】令和4年度の予算編成に当たっては、普通交付税などの一般財源が大きく減少し財政状況がますます厳しくなる中、新型コロナウイルス感染症への確に対応するとともに、人口減少や少子高齢化など様々な地域課題の解決に向け、対応していくことを念頭に取り組んできました。

—— 感染症対策

感染症予防に向けた取組はもとより、中小企業向け融資をはじめとする経済活動に対する支援や新しい生活様式に対応したデジタル技術の活用など、関連予算として総額で23.2億円を計上した。

—— 地域課題の解決

子ども・子育てひろば「えみふる」を中心とした子育て環境の充実や、健康経営都市の推進、スマート農業

の普及促進、ICT環境を最大限活用した取組などを重点的に進めてきた。

また、北大COI「食と健康の達人拠点」については次のステージに移行するが、母子健康調査やげんき発見ドックなどは市の独自事業として継続するなど、引き続き産学官の連携による健康コミュニティの推進に取り組む。

—— 市長の総括

新年度予算の取組について、厳しい財政状況の中ではあるが、長期的視点に立ち、将来にわたって成長を続けていくために必要な「未来への投資」であると捉えている。

新年度においても持続的な財政運営に留意しながら、未来に向けたまちづくりに取り組んでいく。



地域公共交通について

—— 東部丘陵地域におけるコミュニティバス

新年度に予定している東部丘陵地域におけるコミュニティバスの導入については、市が多額の経費を負担してきた「中央バス万字線」と「市営バス万字線」の両路線に代わるもので、この見直しによって運行経費は約4割程度に圧縮されることが見込まれ、将来を見据えた持続性の確保が図られたものと考えている。

—— 公共交通の今後の在り方

現在、市内の全てのバス路線において長期にわたって利用者数の減少が続き、コロナ禍によってさらに拍車がかかっている。これに伴い、路線維持のための市からの補助額も年々増加しており、これ以上の負担を続けていくことは困難である。

市街地周辺や通勤通学の時間帯など、一定の需要が見込まれる路線においては、運行の効率化などにより、引き続き路線バスにより輸送力の確保を図っていく必要がある。一方で、郊外地域において今後、路線バスを維持することが困難となる可能性があるが、地域のニーズを踏ま

え、東部丘陵地域のようなコミュニティバスへの転換などにより、持続性を高めていくことが重要だと考えている。

今後においても、地域や交通事業者と一体となり、暮らしを支えることを基本とし、将来にわたる地域の足確保に取り組んでいく。



代表質問の録画映像
をYouTubeで配信
しています



代表質問：豊岡議員



政 和 会
野 尻 清

防災対策について

——自宅療養中の感染者・濃厚接触者の避難所対応

【市長】 指定避難所で一般の避難者と自宅療養者等の利用スペースを完全に分けることが難しいため、自宅療養者等の方には、指定避難所とは別にイベントホール赤れんがを専用の避難所として予定している。

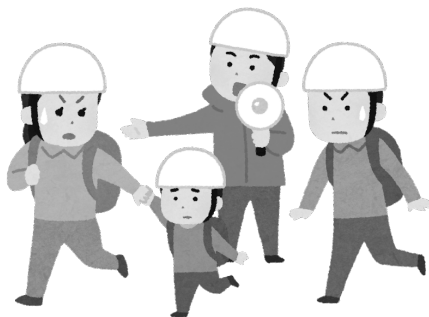
また、専用の避難所では、出入口を含めて感染者と濃厚接触者の利用スペースを完全に分けて対応することとしている。

——自宅療養者等に対する避難行動の周知

昨年6月から岩見沢保健所と協議を行い、現在、自宅療養者等に対して岩見沢保健所が作成し送付する書類の中に、災害時の避難についてのお知らせ文や自宅療養者等の災害時における避難についての周知チラシを同封している。また、平時から広

く市民に周知するため、市のホームページや町会・自治会回覧での周知も図っている。

なお、避難情報が発令された際は該当する地域の感染者に対して、岩見沢保健所が避難について電話連絡するとともに、市は個別に避難方法の確認を行うこととしている。



芸術・文化活動の推進について

——芸術・文化活動の推進についての考え

【教育長】 市民生活にとって、芸術・文化活動は欠かすことのできない重要な要素であり、時代のニーズを捉えながら多彩な活動を支え、これまでに培ってきた芸術文化を継承・発展させることは、豊かな心と生きる力を育むまちづくりにつながる大切な取組であると考えている。

——団体活動の維持継承

インターネットの普及により、芸術文化の表現も場所や時間に縛られないものになりつつある。文学に関して言えば、かつてはそれぞれの地域で団体をつくり、活動が活発に行われていたが、現在ではインターネット上で多くの発表の場ができ、誰でもどこからでも発表できる環境が整っている。歌やダンスなどについてもYouTubeなど、個人的なグループで表現し、発信できるようになっている。そうした活動機会の充実により、団体活動の維持継承が難しくなってきたものと考えている。

——継承・発展に向けた取組

教育委員会としては、時代の流れを捉えつつ、芸術文化の継承・発展に向けた取組を進めている。交響詩いわみざわについては、NPOと連携して映像などによる鑑賞イベントの企画や、市ホームページに情報を掲載するなどの取組をしてきた。

また、長い歴史を持つ子ども文化祭や市民の文化祭についても、コロナ禍で様々な制限がある中、工夫して継続できるよう支援するとともに、「氷室冨子青春文学賞」といった新たな取組に対しても、関連イベントの企画などに連携して取り組んでいる。

代表質問の録画映像
をYouTubeで配信
しています



代表質問：野尻議員



日本共産党議員団
山田 靖 廣

**新型コロナウイルス
感染症対策について**

——3回目のワクチン接種の接種率

【市長】 3回目の追加接種は、3月7日現在で全市民の31・9%が接種を完了し、さらに接種対象である18歳以上の市民で2回目の接種をした方に占める接種率は41・2%である。

——ワクチンの違いによる問合せ

問合せについては、使用するワクチンや1、2回目と異なるワクチンを用いて3回目接種した場合の安全性と効果を丁寧に説明するとともに、市ホームページや広報での周知、接種券の発送時にパンフレットを同封するなどの周知啓発に努めた結果、数件程度の問合せがあったが、3月7日現在で2回目の接種を完了した高齢者の88・7%が接種または予約をされている。

——5歳以上への接種の取組

3月5日から既に開始している5から11歳への接種については、安心

して接種を受けさせることができるよう、市内小児科による個別接種と市立総合病院・市内小児科医師による集団接種の体制を早くから構築するとともに、学校が休みの土曜日に集団接種日を設けるなど接種機会の確保に努めてきた。

保護者への周知については、接種券の発送時にパンフレットを同封するとともに、接種を受ける場合や副反応が出た場合の取扱いについて、教育委員会を通じて各学校、保護者へ周知している。

——全世代への接種の取組

順調に接種を進めており、5月中旬旬にはおおむね接種が完了するものと見込んでいる。

——市民に対し幅広く無料PCR検査等を実施する考えは

PCR検査、抗原検査は、検査時点における感染の有無であり、以後の感染を防ぐものではないことから、何よりも感染予防が重要である。

**子ども・子育て
支援の推進について**

①ヤングケアラーへの取組について

——ヤングケアラーの実態

【教育長】 昨年5月、市内の小中学校と緑陵高校の教職員を対象に、ヤングケアラーの把握状況について調査したところ、2件の報告があった。この結果を受け、教職員に対するヤングケアラーの理解促進の必要性を感じ、6月から全ての学校でヤングケアラーに関する研修を行い、再度調査を行ったところ、報告件数は17件となった。これらにおいては教育相談を行うなど支援を行っている。

なお、ケアの内容で最も多かったのが「きょうだいの世話・送迎」で、次いで「家事」であった。

——今後の取組

ヤングケアラーの把握には、学校現場など周囲の大人がそうした問題を理解する必要があると感じており、今後はこの問題について広く周知・啓発を図るとともに、教員や保育士等を対象とした研修会を開催する予定である。

また、支援策として特別育児支援ヘルパーを活用するほか、子ども・子育て会議に専門部会を設置し、必

要な取組について検討する予定である。

②子育て相談体制の充実について

——虐待などの市民からの通報体制
児童虐待を防ぐためには、起こさないことが最も重要であり、起こってしまった場合には深刻な事態となる前に、迅速に対応することが大切である。そのため、学校や地域など、子供と直接関わる大人が子供たちの様子を注意深く見守ること、そして、虐待が疑われるときは迷わず通告することが重要と考えている。

——教育委員会の取組

地域の子ども会や子ども食堂などを支援することで、地域と子供の直接的な関わりを促し、虐待の早期発見につながる取組を進めながら、ポスター等を活用して啓発に努めているほか、民生委員・児童委員協議会など地域の皆さんと連携した取組も行っている。

代表質問の録画映像
をYouTubeで配信
しています



代表質問：山田議員



公明党
猪口 満 雅

カーボンニュートラル への取組について

——ゼロカーボンシティについて

【市長】 令和4年度において、市の公共施設等における再生可能エネルギー設備等の導入ポテンシャル調査を実施するとともに、「地球温暖化防止実行計画」の「区域施策編」を新たに策定し、併せて市の施設を対象とした「事務事業編」の見直しを行うこととしており、ゼロカーボンシティの表明については「区域施策編」の策定後に取組方針を掲げて行いたいと考えている。

——脱炭素先行地域について

「脱炭素先行地域」の地域指定を受けた自治体には、再エネ発電施設の導入などに対し、最大75%の補助が充当される優遇措置がある一方、2030年度までに、地域内の民生部門（家庭・事務所・店舗）における電力消費に伴う二酸化炭素排出量実質ゼロの達成が求められ、ハードルが高い

という側面がある。

そのため、まずは実行計画区域施策編の策定を進めることとし、計画に適した国の補助事業を活用しながら、取組を展開していきたいと考えている。

——市民の意識改革と行動変容を促す取組について

ゼロカーボンシティの実現には、何よりも市民や事業者の皆様の理解と取組が必要不可欠であり、長期的な視野での取組が必要となる。

これまで当市では、地球温暖化対策のための国民運動「COOL C HOICE」を推進し、各種イベントやポスター・冊子等での普及啓発地域の新エネ・省エネ推進団体と連携した取組を進めてきた。

令和4年度においては、実行計画の策定に当たり、家庭からの二酸化炭素排出量を見える化し、市のホームページ等での周知・啓発を図るなど、意識の高揚を図っていききたいと考えている。

デジタル社会 構築について

①女性活躍の推進について

第3次いわみざわ男女共同参画実践プランにおいて、多様で柔軟な働き方ができるような女性の就業・起業支援に努めることとしており、当市において、地域特性であるICT環境を生かし、児童見守りや在宅就業の推進など様々な施策を展開しているところである。

当市が目指すデジタル社会実現に当たっては、活用に必要な基本的な知識・技術の習得はもとより、デジタルを活用する仕組みや場をいかに社会実装していくかが重要であり、併せてデジタル人材の確保も重要となっている。

このため、進出企業や首都圏企業等との連携を図りながら、高度な技術スキルを持つデジタル人材の活用や育成体制を確保するとともに、女性をはじめ高齢者や障がいを持たれる方々が活躍できるよう、引き続き市民を対象とした人材育成プログラムを展開していきたいと考えている。

②マイナンバーカードの普及促進についで

——申請増への施策

夜間・休日窓口やイオン岩見沢店での出張窓口を開設するとともに、事業所や町会などに出向く「出張申請受付」を実施するなど普及促進に取り組んでいる。

申請手続は市役所本庁のほか、有明交流プラザ及び幌向のサービスセンター、北村・栗沢の両支所において受け付けており、写真撮影や情報入力などについて情報端末の扱いに不安がある方でも気軽に申請ができるようサポートを行っている。

——マイナポイント事業

申込手続の情報入力支援等を行っており、令和2年度は1千232件、令和3年度は1月末までに834件のサポートを実施している。

代表質問の録画映像
をYouTubeで配信
しています



代表質問：猪口議員



みどりの会
河合清秀

**膵臓がん早期発見、
早期治療のために**

—市のがん検診

【市長】市のがん検診は、厚生労働省が定める指針に基づいており、検診を受けることで早期発見が可能で、さらに治療を行うことで死亡率を下げることが科学的に証明されている胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの五つのがん検診について実施している。

—尾道方式など「膵臓がん早期発見プロジェクト」の実施について

「膵臓がん早期発見プロジェクト」は、尾道市医師会が中心となって「スクリーニング」と「エコー検査」を組み合わせて膵臓がんの早期発見につなげる病診連携のプロジェクトで、膵臓がんに対する治療法の進歩に加えて、本プロジェクトによる早期診断例の増加が5年生存率の改善につながった可能性が示唆されている。

現時点で膵臓がんの検診が厚生労働省の指針に含まれていないため、市のがん検診に導入していないが、このプロジェクトの取組について国の動向や他市の実施状況等を注視していきたいと考えている。

○再質問

—厚生労働省の指針がということではなく、市独自で行うべきではないかと

尾道市での取組は検診ではなく診断であり、医師会主導のプロジェクトである。

当市の健康センターで行っている人間ドックのオプションとして選択できる腫瘍マーカーは、膵臓がんの発見に80から90%の確率で早期診断につながる検査とされているし、腹部エコー検査も行っている。また、市が推奨しているバスツアー検診の中では、がん協会でのオプションとして腹部エコー検査も実施しており、そういった検査を基に早期診断につなげる取組をしている。

一般質問の録画映像
をYouTubeで配信
しています



一般質問：河合議員



日本共産党議員団
上田久司

**水田活用の直接支払交付金
見直しの問題と対策等について**

—転作に関する現状

【市長】令和3年産主食用米の作付面積は4千651ヘクタール、転作面積は1万654ヘクタール、主な転作物は、小麦、大豆、てん菜、菜種、タマネギ、白菜などとなっております。転作率は69・6%。

—農家等の声をどう受け止めているか

総じて将来への不安や様々な影響が想定されるため困惑されている声を聞いており、改めて厳しい局面を迎え、農業のみならず影響を及ぼしかねない課題であると認識している。

—今後の対応

これまで北海道農政事務所との意見交換をJAいわみざわ地域農業再生協議会において実施したほか、市単独でも実施するとともに、JA、土地改良区などと今後の対応につい

て情報共有を図っている。
また、国において現場の課題を検証して詳細なルールを策定することであり、北海道市長会や空知地方総合開発期成会を通じてルール策定の際には生産者及び農業関係団体等の意見にも配慮し、慎重な検討を行うことを要望するように調整をしている。

北海道農政部が開催している関係機関連絡会議が示したロードマップでは、各地域の農業再生協議会が主体となって、令和4年度中に地域の水田農業の方向性を検討する必要性が示されており、今後はJAいわみざわ、JAみねのぶ両地域の農業再生協議会において、国の動向等を踏まえながら、市としても検討を進めていきたいと考えている。

一般質問の録画映像
をYouTubeで配信
しています



一般質問：上田議員

令和4年第1回臨時会（1月24日）、第2回臨時会（2月14日）

審議結果

○除排雪事業の予算を増額することについて審議

議案番号	件名	審議結果
議案第1号	令和3年度岩見沢市一般会計補正予算について(第13号)	原案可決
議案第2号	令和3年度岩見沢市一般会計補正予算について(第14号)	〃

令和4年第1回定例会（3月1日▶3月22日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
報告第1号	専決処分した事件の承認について(損害賠償の額の決定)	承認
議案第3号	岩見沢市個人情報保護条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	岩見沢市における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	〃
議案第5号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	〃
議案第6号	岩見沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	〃
議案第7号	岩見沢市恩給条例の一部改正について	〃
議案第8号	岩見沢市手数料条例の一部改正について	〃
議案第9号	岩見沢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	〃
議案第10号	岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第11号	岩見沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第12号	岩見沢市国民健康保険条例及び岩見沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正について	〃
議案第13号	岩見沢市多目的研修集会施設等条例の一部改正について	〃
議案第14号	岩見沢市北村自然体験宿泊学習館条例の廃止について	〃
議案第15号	工事請負契約の締結について(新庁舎公用車車庫・倉庫新築工事)	〃
議案第16号	令和4年度岩見沢市一般会計予算について	〃
議案第17号	令和4年度岩見沢市特別会計国民健康保険費予算について	〃
議案第18号	令和4年度岩見沢市特別会計公共用地等造成費予算について	〃
議案第19号	令和4年度岩見沢市特別会計公設卸売市場費予算について	〃
議案第20号	令和4年度岩見沢市特別会計高等学校費予算について	〃
議案第21号	令和4年度岩見沢市特別会計企業用地造成費予算について	〃
議案第22号	令和4年度岩見沢市特別会計農業集落排水事業費予算について	〃
議案第23号	令和4年度岩見沢市特別会計介護保険費予算について	〃
議案第24号	令和4年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費予算について	〃
議案第25号	令和4年度岩見沢市病院事業会計予算について	〃
議案第26号	令和4年度岩見沢市水道事業会計予算について	〃

審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第27号	令和4年度岩見沢市下水道事業会計予算について	原案可決
議案第28号	財産の取得について	〃
議案第29号	令和3年度岩見沢市一般会計補正予算について(第15号)	〃
議案第30号	令和3年度岩見沢市特別会計国民健康保険費補正予算について(第2号)	〃
議案第31号	令和3年度岩見沢市特別会計高等学校費補正予算について(第3号)	〃
議案第32号	令和3年度岩見沢市特別会計介護保険費補正予算について(第2号)	〃
議案第33号	令和3年度岩見沢市病院事業会計補正予算について(第4号)	〃
議案第34号	一般職員の給与に関する条例等の一部改正について	〃
議案第35号	岩見沢市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の設定について	〃
議案第36号	岩見沢市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について	〃
議案第37号	副市長の選任について【渡辺 亮氏】	同意
議案第38号	教育委員会の委員の任命について【南部 博明氏】	〃
議案第39号	公平委員会の委員の選任について【九津見 千佳子氏】	〃
議案第40号	公平委員会の委員の選任について【亀山 強氏】	〃
議案第41号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について【平川 卓氏】	〃
議案第42号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について【木村 聡氏】	〃
議案第43号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について【林 浩三氏】	〃
意見書案第1号	水田活用の直接支払交付金の厳格化及び見直しについて	原案可決
決議案第1号	ロシア連邦によるウクライナ侵略を非難することについて	〃
決議案第2号	閉会中の所管事務調査について	〃

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

各議員の議案に対する賛否の状況（賛否の分かれたもの）

議案名	会派名		市民クラブ								政和会			共産	公明	み	無							
	議員名		伊澤幸信	増山宣之	豊岡義博	峯泰教	平野義文	武田貞行	大坂龍起	木村光宏	越戸正樹	篠原藤雄	宮下透	野尻清	池島和行	日向清一	古石英仁	石黒武美	上田久司	山田靖廣	齊須正友	猪口満雅	河合清秀	太田博之
議 12) 岩見沢市国民健康保険条例及び岩見沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議 16) 令和4年度岩見沢市一般会計予算について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議 17) 令和4年度岩見沢市特別会計国民健康保険費予算について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議 24) 令和4年度岩見沢市特別会計後期高齢者医療費予算について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議 26) 令和4年度岩見沢市水道事業会計予算について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議 34) 一般職員の給与に関する条例等の一部改正について			○	○	○	○	○	○	○	○	○	長	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

・表決（賛成＝○ 反対＝×） ・会派名（共産＝日本共産党議員団 公明＝公明党 み＝みどりの会 無＝無所属）

第1回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 母（毛嘉萍）が中国で不法に逮捕されている件について
- 令和4年度の米政策に関する請願書について（2件）
- コロナ禍での消費拡大対策の強化と水田活用交付金の見直しに関する意見書について
- 日本国憲法の尊重・擁護について

清園中学校 社会科授業



令和4年2月17日に市議会議場において、岩見沢市の将来の主権者である清園中学校3年生が「身近な地域の課題を実現するための提案」をまとめたビデオメッセージをモニターに投影し、議員が助言を行う様子を撮影しました。

本来であれば新しくなった議場に招いて討論の場を設ける予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、昨年同様にビデオメッセージでのやりとりとなりました。

意見交換会の動画をYouTubeで配信しています。



新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、事前にお寄せいただいたご意見にお答えする形で動画収録を行った「コロナ禍における市民と市議会との意見交換会」につきまして、市議会YouTubeチャンネルに動画を配信いたしました。下記QRコードからご視聴できますので、ぜひご覧ください。

※動画は令和4年9月末に配信終了予定です。



編集後記

広報広聴委員会委員 山田靖廣

令和4年第1回定例会で新年度の事業・予算が決まりました。コロナ禍の中、まん延防止重点措置が解除されましたが議会としても油断することなく感染防止に努めながら議会活動をしていきます。

今回の議会は念願の新庁舎での初議会になりました。議場の椅子に座ると改めて気が引き締まる思いをしたのは全議員の共通した気持ちではないでしょうか。

市民の皆さまには新しい議場に来ていただき議会の傍聴をと思います。

【委員長】 武田貞行 【副委員長】 池島和行
【委員】 越戸正樹 峯 泰教 宮下 透 日向清一 山田靖廣
 猪口満雅 河合清秀 太田博之

議会の傍聴について

本会議と委員会は、傍聴することができますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク着用等のご配慮をお願いいたします。なお、体調不良の方はご遠慮ください。

※ご不明な点は議会事務局までご連絡ください。
議会事務局
Tel 35-4907

市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。

岩見沢市議会

